

# 動物園からこんにちは

札幌市立伏見中学校  
第2学年理科資料

こんにちは。動物園の「幅崎」です。理科の基本は「違いがわかる」ということにあります。ちょっとした気づきが新しい学習につながります。さて、いつも同じように見える動物にも「顔色」があります。お客様からよく動物の顔色ってどうやってみるの？と訊かれますが、幅崎もウサ・モルの顔色を見てきました。さて、今回も前回の続きで、「動物を飼う。」ということです。



ある朝、出勤してモル舎へ向かうと「テイル」が、けがをしているようです。数日前から♂群に新しいメンバーが加わり、ちょっと危ない雰囲気だったのですが、ついに現実のものとなってしまいました。一昨日までは夜の間だけ隔離していた個体を群れのまま過ごさせたのです。



左上の写真は、生まれてまもなくの「テイル」です。お母さんの「ママ」に寄り添って乾し草にもぐっているちびっ子です。右の写真は、親子一緒だった♀群から♂群に旅立つときの「テイル」です。そして、夏になってからはふれあい教室のメンバーとして一緒に活動してきたのです。動物とはいえ大事なクラスメイトですね。当然獣医さんに連絡しました。



今日の獣医さんは、私も写っちゃいましたの「近江谷」さんです。念のためレントゲン写真を撮ったのですが、小さな指先まではプロテクターをつけて撮影できません。結局は、いつものように素手になってしまいました。これも獣医さんの仕事と考えるべきなのでしょうか。



さて、診断結果ですが、予想以上の重傷で、何と骨折していました。さて、「家のペットが同じ状況になり街の動物病院に連れて行きました。」となるとこの診断までいくらかかるのでしょうか。そして治療にはどのくらいかかるのでしょうか。「被爆のこと」「経費のこと」、そして「淘汰のこと」など考えさせられるできごとでした。しかし、それを乗り越えて家畜を飼う人がいるので「お肉」が食べられるのですよ。(げっ歯目テンジクネズミ科)

さて、診断結果ですが、予想以上の重傷で、何と骨折していました。さて、「家のペットが同じ状況になり街の動物病院に連れて行きました。」となるとこの診断までいくらかかるのでしょうか。そして治療にはどのくらいかかるのでしょうか。「被爆のこと」「経費のこと」、そして「淘汰のこと」など考えさせられるできごとでした。しかし、それを乗り越えて家畜を飼う人がいるので「お肉」が食べられるのですよ。(げっ歯目テンジクネズミ科)

先日、お子さんが飼っていたカメが(お子さんが)独立して飼えなくなったので引き取ってもらえないかという市民から悲痛な連絡がありました。何と甲羅が 50 センチ以上もあるそうです。動物の生態を考えずに飼育するとヒトも動物も迷惑してしまいます。今を楽しめばよいというのではなく、人生、先を見て動物とつきあうことが大切ですね。飼育レポートは学校にですよ。では、また。

## 学び or 遊び、どちらが楽しい？

多くの皆さんにとって「学ぶこと」が「楽しく」なるためにはまだ時間がかかると思います。でも、自分から学びたいと思ったときには、勉強は強制されるものでなくなります。動物園や博物館、図書館などは、遊びながら学べる絶好の施設です。「学び」=「遊び」になるようになりましょうね。